



「つばのゆらぎ」

「戦(いくさ)や武器(ぶき)にゆらぎする」とは、

第46回ボランティア研修交流会(バスハイク)開催

今回の研修交流会は、「攫千金」「さわやか」バスツアーと題して、四年ぶりとなるミステリーツアーを企画しました。行き先は当日まで、お知らせをせずに開催しました。

十月十九日(日)に第四十六回研修交流会(バスハイク)が行われました。

早朝六時四十分小倉駅前を出発し八幡駅前を経由して一路大分県へ向かいました。参加者は十九名でした。

四年ぶりとなる

ミステリーツアー

今回の研修交流会は四年ぶりとなるミステリーバスツアーとなりました。行き先が発表になるまでわくわくしながら待っていました。

今日は、大分県日田市津江村にある鯛生金山の砂金採り体験と地底博物館を見学し、熊本県の菊池温泉で昼食と温泉を楽しみ、道の駅七城メロンドームで買物する行程です。

往路のバスの中では山田理事長の挨拶の後、車内研



山田浩美理事長

修がはじまりました。

研修内容は『ことばのゆらい』と題して、普段何気なく使っている言葉の背景を昔の戦(いくさ)や武器(ぶき)に由来することばで探つて勉強して行こうという内容でした。

約一時間の研修の後、休憩をはさんで毎回恒例になっています時間当てクイズで楽しみました。結果は後ほど、お知らせします。



攫千金を目指して 砂金採りに挑戦

十時二十分に鯛生金山へ到着し、施設の方の説明を

聞き、初めにゴールドハンティングと呼ばれている砂金採りに挑戦しました。

一攫千金を目指して、お皿に砂をすくってはお皿を動かして砂を落とす砂金と珍しい石を採ろうと奮闘しましたが三十分と言う時間はあっという間に過ぎて砂金採りは終了しました。その後地底博物館に入りました。

明治二十七年に行商人が谷川で拾った一片の金鉱石から歴史がはじまり、昭和四十七年の閉山に至るまで東洋一の黄金郷として様々なドラマが繰り広げられました。坑内の気温は年間を通して約十四度で夏は涼しく、冬は暖かくいつでも快適に観光ができます。

約八〇メートルの観光コースは四十分で廻ることができ、実際に掘られた坑

「つばのゆらぎ」(一部紹介します)

○「罫迫り合い」(つばぜりあい)は刀の罫がぶつかるほどの接戦をいいます。

○「鎬をけずる」(しのぎをけずる)は刀の側面が削れてしまふほどの激しい接戦を意味します。

○「切羽つまる」という言葉も刀の部分から来ている言葉です。



砂金を採掘している様子

道を歩きながら当時使われていた機械や蟬人形を使って採掘の歴史などを再現してありました。

中津江村といえば・

中津江村といえば二〇〇二年に開催された日韓ワールドカップの際、村内のスポーツ施設の有効活用を目的に公認キャンプ地として名乗りを上げ、その結果アフリカのカメルーン代表のキャンプ地に選ばれたということでも有名です。施設の中にもカメルーンコーナーなどもあり、当時のサッカー選手と村民の方との交流の様子の写真や黄金のサッカードシューズなどが展示してあります。

鯛生金山を後にして一路菊池温泉へと向かいました。そこで時間当てクイズパートⅡということで菊池観光ホテルに着く時間を当てクイズに再び挑戦しました。十二時四十五分にホテル

に着き、今回参加された(故)江頭前理事長の奥様の江頭眞紀子さんによる乾杯で美味しい食事がはじまりました。時間当てクイズの表彰に移りました。

はじめの時間当てクイズは日田インターを出る時間を当てるクイズでした。

正解は八時五十分で、一位を獲得したのが芳井紀代美さんでした。

パートⅡの時間当てクイズは十二時四十五分が正解で、上位六名に賞品をお渡しし、表彰式を終わりました。

その後、D.F.江頭眞紀子さんに即席ではありましたが『膝の悪い人の歩き方』の実技講習をしていただきました。

ゆっくり温泉に入る方やボランティアさん同士交流を深める方などそれぞれに満喫されて菊池温泉を後にしました。

次に道の駅七城メロンドームへ立ち寄り買物を楽しんだあと、バスの中でお遊びクイズで楽しみながら帰路へと着きました。

八幡駅に十八時に小倉駅前十八時三十分は無事に到着し、今回もたくさんのお土産を抱え再来を約束して家路に着きました。

研修交流会に参加された

ボランティアさん三名の方に

感想文を頂いたので紹介します

スタッフの方の手助けもあり

砂金を3粒Get!

小倉事業所
ボランティア



十月十九日、ミステリーバスハイクに参加させていただきました。

前日、姉である山田理事

長より「瓦があり、ミステリーツアーにも拘わらず、「クレーボックス持つていく?」と聞かれました。

事前にいただいた案内状に「一攫千金出来るかも!」とあったので、もしかして鯛生金山かな?と予想していました。

恒例の時間当てクイズは、日田インターの到着時刻! 該当者がおらず、1分違いでしたが、1位と言う事で3名でじゃんけんをし、見事中津江村の名産品セットを戴きました。

山道をひた走り、予想通り鯛生金山に到着、砂金探しをしました。

金山スタッフの方の手助けもあり、1mmほどの砂金を3粒Get!

芳井紀代美さん

その後、ひんやりとした坑道を見学、5匹の金の鯛を発見し、「年末に本物の鯛が当たるかも?」に応募しました。菊池温泉で美味しい昼食

金の豚の貯金箱で五〇〇〇円玉貯金を

小倉事業所



十月十九日(日)の早朝六時過ぎから「さわやか」のバスハイクの為に八幡駅に行きました。

ミステリーツアーということで、行先はなかなか教えてもらえませんでした。車内研修が終わった後の基山サービスイリアの休憩が終わったあとにやっと今日の行先は大分県の鯛生金山だとわかりました。

その後に、毎回恒例の時間当てクイズで日田インターチェンジの通過時間を当

をいただき、その後、メロンドームに寄りました。

山田理事長の「クレーボックス」の助言のおかげで、大好きな「生ウインナー」を買うことが出来ました。

今回は、参加者が少なめでしたが、とても楽しいバスハイクでした。

事務局の皆様!いつも楽しい企画を考えていただきありがとうございます。来年も、楽しみにしております。



ボランティア

山田和美さん

てるクイズで、運悪く?ブービー賞をとってしまい、この感想文を書く羽目になってしまいました。

鯛生金山では「一攫千金」を目指し、砂金採りに挑みましたが、採れたのは1ミリにも満たない一粒の砂金と、水晶やガーネットなど数個の石でした。

気を取りなおし、菊池温泉での昼食は、他の参加者の方々の「ノミニュケーション」が十分に取れたと思います。ありがとうございます。道の駅七城メロンドームで買い物をして、一日楽しく

時間当てクイズで景品をゲット!

小倉事業所

ボランティア

貞谷美里さん



十月十九日に第四十六回ボランティア研修交流会(バスハイク)に参加させていただきました。

今回の行き先は、「一攫千金「さわやか」ミステリーツアーという事で、当日ま

過ぎすことができました。事務局の方ご苦労さまでした。

また来年も楽しい企画を考えてください。よろしくお祈りします。

それからブービー賞でもらった「金の豚の貯金箱」ですが、私の少ない小遣いの中から少しずつ入れていきたいと思います。

「さわやか」の事務局からは「五〇〇〇円玉貯金を!」と言われましたが、いっばいになったら...事務局に没収されるでしょう!必ず!



なにしろ!理事長が家で見張っているのですから...

でのお楽しみでした。妹に聞いても当日まで、絶対に教えてくれませんでした...。行きの車内研修では山田理事長が「ことばのゆらいとばく」についてお話をしていたいただきました。

普段何気なく使っている言葉にはきちんと意味がある事を改めて再確認でき、とても勉強になりました。

車内研修後に行き先が発表され、大分県中津江村の鯛生金山だと分かりました。

鯛生金山では砂金採りの体験と地底博物館の見学をしました。(砂金が取れなかったのが後悔です...)

今年恒例の時間当てクイズが二回行われ、二回とも当たり、黄金の鯛の耳かきとひざ掛けをゲット!

お昼は熊本県の菊池観光ホテルで美味しい食事しながら参加者の皆さんと交流をし、温泉に入り、道の駅七城メロンドームではメロンパンとソフトクリームを食べて、大満足した一日でした。

事務局の皆様、ありがとうございました。